



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発行者 情報宣伝部
2024年8月21日 No.788

お盆期間のご利用状況は昨年を上回る

対前年比 105%

JR東日本は8月19日に「お盆期間のご利用状況について」を発表しました。8月9日～8月18日（10日間）の新幹線・在来線のご利用状況は、東北地方の大雨や台風5号、7号の影響があったものの昨年を上回るご利用となりました。

「お盆期間」新幹線・在来線特急のご利用状況（主要16区間の合計）

	2023年	2024年
下り	214.3万人	222.4万人
上り	208.4万人	222.4万人
計	422.8万人	444.9万人

●主な駅のご利用実績（交通系ICカードによる自動改札利用延べ人員等）

《8月9日～8月18日の10日間》

4,245万人→5,470万人と昨年を上回る！

連日の猛暑の中、豪雨による災害の復旧作業、安全・安定輸送に努めるとともに、みどりの窓口の長蛇の列のお客さま対応や旅行に不慣れなお客さまの案内など、夏季輸送に社員は尽力してきた！会社はこの努力に対し、年末手当で応えるべきだ！

2024年度年年末手当で 正当な成果配分を勝ち取ろう！